

総選挙で政治を変えよう

# 総裁選よりコロナ対策を！

## 山村・太田県議と懇談 業者の実情・要求伝える



太田（左）、山村県議（中央）と県のコロナ対策の認証も受けてがんばる藤井さん（右）

# 奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会  
奈良市大森西町13-16  
電話0742-33-7266  
FAX 0742-34-5826  
HP naraminsyo.jp

### 記帳会

10月の記帳会は、  
下記の日程で開催  
します。

【日時】  
10月20日(水)  
13:30  
【持ち物】  
領収書・帳簿  
筆記用具・電卓



### 絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの健康を守るためにしばらくお休みします。



政府の無為無策に怒る田尾さん（右）

山村さちほ・太田あつし県議  
お店に招き、懇談

9月13日、藤井実さん（飲食  
大宮支部）、田尾幸雄さん  
（鍼灸・南支部）、谷口和子  
（クリーニング・南支部）ら  
3人は山村さちほ氏、太田あつ  
し氏の両県議（日本共産党）を  
お店に招いて懇談。コロナ禍で  
の営業の実情や県政への要求な  
どを伝えました。



資料も示し説明する谷口さん（左）

両県議がお店を訪ねると、開  
口一番、自民党はボス選びを  
やっている場合か。総裁選より  
コロナ対策を」と政治への怒り  
をぶつけた藤井さん。飲食業  
がまるで『悪の巣窟』のように  
言われる一方、奈良県は緊急事  
態宣言を出さず何の補償もしな  
い。きつちりと補償するか『安  
全宣言』を出して安心してお客  
さんが来てもらえるようにする  
か、どちらかにしてほしい」  
コロナ禍がこのまま続けば店  
を潰される。持続化給付金、家  
賃支援給付金の再支給を」と訴

国・県は「宣言」出して  
営業の存続を支援せよ

えました。

部活の休止・外出自粛で  
診療は激減続く

田尾さんは 学校の部活動の  
休止が続く、スポーツ傷害の診  
療がコロナ前の水準に戻らない。  
外出自粛の影響も依然続いてい  
る。家賃などの固定費の支払い  
が困難。コロナの収束と支援の  
強化を」と訴えました。

無利息融資、持続化給付金  
再開をお願いしたい

谷口さんはコロナ禍で飲食店、  
ホテルなどの売上が激減。奈  
良県の無利子融資、雇用調整助  
成金、持続化給付金などを活用  
し、何とかがんばってきました」  
と話し、今後の機械の入れ替  
えやなどを考えると、持続化給  
付金や無利子融資の再開をぜひ  
お願いしたい」と訴えました。

9月議会での質問で  
業者の要求実現に全力尽くす

山村・太田両県議は、今日  
聞いた声を9月議会での質問に  
生かし、業者のみなさんの要求  
実現に全力でがんばりたい」と  
話しました。

# 自分用帳簿作りにトライ

## 記帳会

奈良民商は9月15日、記帳会を開催し、村木敬さん（建築Ⅱ南支部）、神田智子さん（美容Ⅱ大宮支部）、川上瞳さん（美容Ⅱ大宮支部）ら4人が参加しました。

村木さんは表計算ソフトで、自分用の帳簿の作成にトライしました。

Mさん（電気工事Ⅱ東部支部）は、8月分まで入力が終わりました」と元気に話していました。

久しぶりに参加した神田さんと川上さんは、領収書の整理やデータを入力作業を行いました。



商工新聞を読み合わせを行う参加者



「ウッドショックの影響でやりくりが大変」の話も出されました。

# 政権交代でインボイス廃止を

## 佐保・大宮・都跡支部

9月9日、佐保・大宮・都跡支部は役員会を開催し、木村洋一・佐保支部長Ⅱ表具Ⅱ、中島辰雄・都跡支部長らが参加しました。

2023年から始まるインボイス制度はよくわからない。尋ねられても説明できない」との声が上がり、インボイスによって事業者の負担が大きくなること、登録していない業者が取引から排除されかねない危険な制度であることを確認。制度廃止のためにも総選挙で政権交代を実現させよう」と話し合いました。

# 大企業優遇の政治許せない

## 済美南支部役員会

済美南支部は9月8日、支部役員会をおこない、三輪昭三支部長Ⅱ大工Ⅱ、川崎佳世副支部長Ⅱ美容Ⅱが参加しました。

8月30日付商工新聞「アフトバンクG、法人税1円も払わず」の記事に2人は、

私たち中小業者は少ない利益から税金を払っているのに、大企業がいろんなからくりで納税を免れているのはおかしい」と怒りを口にしました。三輪支部長は

後手後手のコロナ対策も含め、自公政権のままでは中小業者はつぶされてしまう。知り合いに広く声をかけ、何とか政権交代を」と呼びかけました。



新役員の村木さん（左から2人目）を迎え、みんな喜んでいます。

# 定額給付金の再給付を

## 南支部役員会

南支部は9月8日、美濃田食堂で役員会を開催し、嶋守秀利支部長Ⅱ印刷関係Ⅱをはじめ5人が参加しました。

コロナ対策について話し合い、高原さんは「国民1人10万円の定額給付金を再給付すべき」と発言。村木さんも「商工新聞にも昨年の予算が30兆円も使われていないと書かれていましたね。そのお金を回せばいいのに」と話しました。

総選挙についても「野党は政策を具体的に示してほしい」と。私利私欲で動く議員ではなく、国民のために働く議員を増やしたい」と話し合いました。



毎月続けている宣伝統一行動の日程も決めました。